

筑波大学理療科教員養成施設活動報告

施設長	吉川恵士
助教授	宮本俊和
講師	徳竹忠司
	濱田淳
技術専門職員	恒松隆太郎
専門職員	神田聖子
外来非常勤講師	小林智子
	佐藤卓也
	菅原正秋
	半田美香子
	森戸麻美
	山口智子
臨床専攻生	鍋木慶子
	原早苗
	土門奏
理療研修生	磯野秀樹
	岸聡人
	三田和紀
	雪貴裕
	斉藤敦
	佐藤和正
	竹下直人
	吉成稔
	渡辺眞智子

今年度は、以上 24 名のスタッフにより、筑波大学理療科教員養成施設理療臨床部における外来臨床を運営した。

1. 施設の概要

本施設は、あん摩マッサージ指圧師免許・はり師免許・きゅう師免許の 3 種を有する者を入学資格とし、定員 20 名の学生に 2 年間(88 単位)の教員養成教育を行い、卒業時に盲学校・視力障害センター・専修学校等の鍼灸マッサージ課程の教員免許を与える施設で、教育職員免許法にもとづき文部科学省が指定した教員養成機関である。

また、施設附属の「理療臨床部」を中心として、あん摩マッサージ指圧、鍼、灸、物理療法の基礎的・臨床的研究、および鍼灸師の卒後臨床教育を行うことを目的としている。

施設スタッフは、教員 4 名、専門職員 2 名、事務員 2 名で学生教育・卒後臨床教育を担当し、臨床活動・研究活動には、臨床専攻生・理療研修生が加わる。

臨床専攻生は、鍼灸に関する研究指導を受ける者で、大学卒業であん摩マッサージ指圧師免許、はり師免許、きゅう師免許を有する者あるいは本

施設卒業者が入学できる。

理療研修生は、鍼灸に関する臨床指導を受ける者で、はり師免許、きゅう師免許を有する者が入学できる。

2. 入学・就職状況

1) 施設学生入学

盲学校専攻科卒業見込者を対象とした平成 17 年度推薦入学では、受験者 18 名(女性 2 名)、合格者 3 名であった。

一般入学では、受験者 81 名(女 13 名)、合格者 18 名(女 6 名)であり、盲学校 13 名、専門学校 5 名であった。

2) 施設学生就職

本年度卒業予定者は 23 名、教員の求人数は 43 名であり、就職先の内訳は、盲学校 16 名、視障センター 1 名、専門学校 3 名であった。

3) 臨床専攻生、理療研修生入学・就職

臨床専攻生入学は、受験者 1 名、合格者 1 名であり、理療研修生は、受験者 17 名、合格者 6 名であった。臨床専攻生 2 名・理療研修生 4 名は進級し、理療研修生 2 名は開業・就職した。

3. 業務

理療科教員養成施設の授業、外来活動以外に、学内、学外の以下の業務を行った。

1) 大学院人間総合科学研究科スポーツ医学専攻で、「アスレティックリハビリテーション特講」、「アスレティックリハビリテーション演習」、「アスレティックリハビリテーション実習」の授業を行った。

2) 人間学類で、「物理療法」、「物理療法特論」の授業を行った。

3) 医学専門学群 4 年生を対象に、アドバンストコース「今日の医療としての東洋医学」について講義・実習を行った。

4) 文部科学省との共催で、現職教員の教育の一環として、盲学校理療科教員 112 名を対象に、4 日間「臨床実習機器の応用」をテーマに筑波大学東京キャンパスにおいて講習会を開催した。

5) 社会人 40 名を対象として、公開講座「健康と東洋医学 家庭でできる手技療法」について講義と実習を行った。

4. 臨床活動

1) 理療臨床部

理療臨床部における診療は、月～金曜日の午前

9時～午後5時(水曜日をのぞく)であり、全スタッフを2グループ(月木班、火金班)で運営し、指導者2～4人に、学生・専攻生・研修生がついて臨床にあたっている。本年度の理療臨床部の患者数は、初診333名、年間延べ患者数は7,086名であった。

2) 共同研究

筑波大学トレーニングクリニック:大学院人間総合科学研究科スポーツ医学専攻の医学系教官、体育科学系教官との共同研究により、スポーツ外傷・障害の鍼治療の効果、スポーツパフォーマンスに及ぼす鍼灸療効果について検討している。

筑波大学呼吸器内科:気道過敏性に対する鍼刺激の影響に関する研究を行っている。

順天堂大学泌尿器科:慢性前立腺炎を中心に泌尿器科領域の鍼治療の研究を行っている。

東京大学麻酔科痛みセンター:慢性疼痛患者に対する低周波鍼通電療法の有用性に関する研究を行っている。

5. 研究活動

原 著

- 1) 原賢二, 宮本俊和: 赤外線サーモグラフィによるジャンパー膝の評価. 日本サーモロジー学会誌, 25(2): 40-44, 2005
- 2) 和田恒彦, 臼田幸世, 福島正也, 宮本俊和, 吉川恵士, 徳竹忠司: サーモグラフィでみた足底部刺激と腰部刺激の比較. 日本サーモロジー学会誌, 25(2): 45-51, 2005
- 3) 市田敬一, 葉華, 小倉裕二, 松村浩樹, 吉川恵士, 徳竹忠司: 末梢循環からみた全身あん摩と局所あん摩の比較 - 皮膚温および深部温を指標として - 日本手技療法学会雑誌 16(1) 2005.
- 4) 和田恒彦, 臼田幸世, 福島正也, 徳竹忠司, 吉川恵士, 宮本俊和: 足底部への押圧刺激は腰部の皮膚温を上昇させるか? - 足底部刺激と腰部刺激による腰部皮膚温の比較日本手技療法学会雑誌 16(1) 2005.

総説等

- 1) 宮本俊和, 大前優子, 泉重樹: スポーツ選手の腰痛に対する低周波鍼通電療法. 臨床スポーツ医学, 22(9): 1095-1100, 2005
- 2) 宮本俊和: スポーツ選手の腰椎椎間板ヘルニアに対する鍼治療. 医道の日本 64(7):42-47, 2005
- 3) 矢野健太郎, 宮本俊和: もう怖くない膝の痛み. 山と溪谷, 841: 195-203, 2005
- 4) 丹澤章八: 後藤修司, 杉山誠一, 吉川恵士,

上村一, 坂本歩, 緒方昭広, 喜多島毅: あん摩マッサージ指圧師, はり師, きゅう師試験あり方研究会報告書 医道の日本 739: 123-129 2005.5 739

- 5) 菅原正秋, 吉川恵士, 有田英子, 花岡和雄: 鍼通電療法に用いる機器 医科器械学 75(3): 108-113 2005.3
- 6) 徳竹忠司: 低周波鍼通電療法, 現代鍼灸学, 5(1): 11-15 2005.11
- 7) 濱田淳, 堀口和彦: FACT 誌収載 [鍼灸関係論文] 49 慢性閉塞性肺疾患の指圧治療, 分節性の方が非分節性よりも息苦しさや肺機能に効く. 医道の日本 64(3): 54-56, 2005.
- 8) 濱田淳, 黒須幸男: FACT 誌収載 [鍼灸関係論文] 55 能力障害を来す息切れに対する鍼. 医道の日本 64(9): 56-59, 2005.
- 9) 松田博公, 濱田 淳: FACT 誌収載 [鍼灸関係論文] 58 鍼はテニス肘もしくは外側上顆部痛を制する. 医道の日本 64(12): 49-50, 2005.

学会発表

- 1) 宮本俊和: ワークショップ 鍼灸安全性に関する既存のエビデンス(2)刺鍼から抜鍼までの操作. 第54回全日本鍼灸学会学術大会, 福岡, 2005.6
- 2) 堀雅史, 泉重樹, 矢野健太郎, 西村博志, 青木謙介, 池宗佐知子, 原賢二, 宮本俊和: 再燃を繰り返す腸脛靭帯炎に対する鍼治療 バスケットボール選手の1症例 第54回全日本鍼灸学会学術大会, 福岡, 2005.6
- 3) 池宗佐知子, 矢野健太郎, 宮本俊和: 日本スリーデーマーチ参加者の運動器系愁訴と鍼に関する意識調査 第54回全日本鍼灸学会学術大会, 福岡, 2005.6
- 4) 泉重樹, 原賢二, 池宗佐知子, 堀雅史, 西村博志, 宮本俊和: 大学ボクシング部におけるトレーナー活動と鍼灸の意識調査 第54回全日本鍼灸学会学術大会, 福岡, 2005.6
- 5) 半田美香子, 恒松隆太郎, 宮本俊和: 施術者間における触診評価: 第54回全日本鍼灸学会学術大会, 福岡, 2005.6
- 6) 原賢二, 宮本俊和: 赤外線サーモグラフィによるジャンパー膝の評価 寒冷負荷サーモグラフィによる試み. 日本サーモロジー学会第22回大会, 東京, 2005.6
- 7) 和田恒彦, 臼田幸世, 福島正也, 宮本俊和, 吉川恵士, 徳竹忠司: サーモグラフィでみた足底部刺激と腰部刺激の比較. 日本サーモロジー学会第22回大会, 東京, 2005.6

- 8) 青木謙介, 宮本俊和: 高校生陸上競技選手における下腿内側の痛みに関する調査. 第 60 回日本体力医学会大会, 岡山, 2005.9
- 9) 池宗佐知子, 矢野健太郎, 宮本俊和: ウォーキングによる筋硬度と自覚的な痛みの変化. 第 60 回日本体力医学会大会, 岡山, 2005.9
- 10) 市川あゆみ, 林貢一郎, 相澤勝治, 今井智子, 黒石祐子, 宮本俊和, 目崎登: 月経周期からみた鍼刺激による心拍変動への影響. 第 60 回日本体力医学会大会, 岡山, 2005.9
- 11) 永井智, 竹村雅裕, 宮川俊平, 白木仁, 向井直樹, 宮本俊和, 夏井裕明, 河野一郎: 遠赤外線照射が肩関節および肩関節周囲筋に及ぼす影響. 第 60 回日本体力医学会大会, 岡山, 2005.9
- 12) 泉重樹, 宮川俊平, 白木仁, 向井直樹, 竹村雅裕, 宮本俊和: 大学ボクシング選手の腰痛と身体特性の検討 第 60 回日本体力医学会大会, 岡山, 2005.9
- 13) 宮本俊和: 実技ワークショップ スポーツ鍼灸マッサージの実際 スポーツ選手の腰痛に対する鍼灸マッサージ 第 31 回日本東洋医学系物理療法学会, 熱海, 2005.10
- 14) 池田隆博, 加藤祐司, 塩崎壮一, 関矢稔, 単蕊, 徳竹忠司, 吉川恵士: あん摩刺激による疲労回復が作業能率の低下を抑制できるか? - ワープロ文字入力および「自覚症調べ」による疲労感を指標として - 第 16 回日本手技療法学会学術大会・臨床実技研修セミナー抄録集 17-19 2005.
- 15) 高橋弘, 五十嵐郁実, 片桐稔, 菅沼さおり, 田端佐千子, 古川恵美子, 山下万希子, 吉川恵士, 徳竹忠司: 求心性軽擦が末梢血管の反応性に及ぼす影響 - 上肢拳上負荷試験による検討 - 第 16 回日本手技療法学会学術大会・臨床実技研修セミナー抄録集 19-20 2005.
- 16) 菅原正秋, 吉川恵士, 有田英子, 花岡一雄: 東京大学医学部附属病院麻酔科・痛みセンターにおける鍼治療の有用性 第 7 回 日本ペインクリニック学会 北関東地方会 2005.
- 17) 原早苗, 濱田淳, 他: 日本医学柔整鍼灸専門学校における OSCE 実施に関する検討. 第 54 回全日本鍼灸学会学術大会 平成 17 年 6 月. 講演等
- 1) 吉川恵士: OSCE 方式を取り入れた臨床室前試験のあり方について 平成 16 年度長野県長野盲学校理療研究会 2005 年 1 月
- 2) 吉川恵士: 腰下肢・膝に関する診察と手技療法 平成 6 年度長野県長野盲学校理療科特別講演会 2005 年 1 月
- 3) 吉川恵士: 視覚障害者に対するマッサージ教育方 平成 16 年度 アジア太平洋地域視覚障害者マッサージ指導者研修 JICA 沖縄国際センター 2005 年 1 月
- 4) 吉川恵士: 頸腕症候群に対する新しい鍼治療と低周波鍼通電療法 江戸川区三療講習会平成 16 年度学術大会
- 5) 吉川恵士: 盲学校専攻科における生理学授業の取り扱いについて 長野県松本盲学校全校研究協議会
- 6) 吉川恵士: 視覚障害者に対するマッサージ教授法について JICA 平成 17 年度 視覚障害者自立のためのマッサージ指導者講習
- 7) 吉川恵士: 日本における盲学校理療科教員養成の現状 JICA 平成 17 年度視覚障害者自立のためのマッサージ指導者講習
- 8) 吉川恵士: 本科保健理療科の現状と将来 全国盲学校教育研究大会 理療分科会
- 9) 吉川恵士: 低周波鍼通電療法の臨床応用 北海道高等盲学校理療研修センター 学術大会
- 10) 吉川恵士: 低周波鍼通電療法の基礎と臨床 福岡県立福岡高等盲学校研修科 特別講義
- 11) 宮本俊和: スポーツ選手の肩・膝の外傷・障害, スポーツ鍼灸愛媛, 3 月, 愛媛
- 12) 宮本俊和: 健康と東洋医学, 西京信用銀行, 5 月, 東京
- 13) 宮本俊和: 運動器疾患の熱画像, 日本サーモロジー学会, 6 月, 東京
- 14) 宮本俊和: スポーツ選手の腰部障害, スポーツ鍼灸神奈川, 6 月, 神奈川
- 15) 宮本俊和: 中高年登山者の膝痛に対するセルフケア (1), ICI 石井スポーツ, 8 月, 東京
- 16) 宮本俊和: 中高年登山者の膝痛に対するセルフケア (2), ICI 石井スポーツ, 9 月, 東京
- 17) 宮本俊和: 頸肩部と肩関節の診かたと鍼灸マッサージ, スポーツ鍼灸青森, 10 月, 青森
- 18) 宮本俊和: 頸肩腕症候群に対する鍼灸マッサージ, 大分鍼灸師会, 11 月, 大分
- 19) 徳竹忠司: 低周波鍼通電療法 柏区鍼灸師会, 2005 年 7 月, 千葉
- 20) 徳竹忠司: 頸肩背部の触診 - 骨格筋を中心として - , 全国病院理学療法師協会東京支部, 2005 年 7 月, 東京
- 21) 徳竹忠司: 臀部・下肢の筋パルス, 文京理療教育研究会, 2005 年 12 月, 東京
- 22) 徳竹忠司: 低周波鍼通電療法の基礎, 筑波大学附属盲学校研修会, 2005 年 10 月, 東京
- 23) 濱田淳: 泌尿器科疾患に対する鍼灸治療 第

22 回現代医療鍼灸臨床研究会シンポジウム、
2005 年 11 月 東京